

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |             |
|----------|----------------------|--------|-------------|
| 建物名称     | (仮称)静岡中央銀行本部別館新築工事   | 階数     | 地上8F        |
| 建設地      | 静岡県沼津市上土町1-1、1-2、5   | 構造     | S造          |
| 用途地域     | 商業地域、防火地域            | 平均居住人員 | — 人         |
| 地域区分     | 7地域                  | 年間使用時間 | — 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 事務所                  | 評価の段階  | 実施設計段階評価    |
| 竣工年      | 2027年5月 予定           | 評価の実施日 | 2025年7月14日  |
| 敷地面積     | 515 m <sup>2</sup>   | 作成者    | 大窪 研二       |
| 建築面積     | 419 m <sup>2</sup>   | 確認日    |             |
| 延床面積     | 2,724 m <sup>2</sup> | 確認者    |             |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 63%

③上記+②以外の: 63%

④上記+: 63%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.4

**LR のスコア = 4.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

| 3 設計上の配慮事項  |  |  |
|---|--|--|
| <b>総合</b><br>・これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。<br>・静岡県沼津市に建設される事務所である。<br>・外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の低減に努めている。 |  | <b>その他</b><br>-  |
| <b>Q1 室内環境</b><br>・明るさセンサーによる自動調光制御を採用している。<br>・開口部の遮音性を高め、屋内の音環境に配慮する。   | <b>Q2 サービス性能</b><br>・階高を高く確保することで、設備の更新性に配慮している。<br>・フロア免震装置を採用している。                                       | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>・敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。<br>・地域性のある素材を使用し、良好な景観を形成している。 |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。<br>・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。   | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>・リサイクル材を積極的に使用しており、非再生資源の使用量の削減を図っている。<br>・躯体と仕上材の分離が容易であり、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。 | <b>LR3 敷地外環境</b><br>・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。<br>・屋外広告物照明の配慮事項の過半を満足している。    |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される